

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中央・地域図書館施設維持管理・運営				整理番号	920	枝番号		
所属部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715	昨年度整理番号	922,923	
係名				管理係		上位施策名			No	
予算事業名				図書館維持管理・図書館運営管理		図書館サービスの充実			63	
事業開始年度		●昭和 ○平成		57年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 図書館法第2条、第3条、第10条						
図書館利用者（区内在住、在勤、在学及び中央図書館長が定める者）		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則								
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）					
	中央・地域図書館の施設維持管理、電子計算機の維持管理・運営等を通じて、図書館利用者への図書館サービスを提供する。				(1) 図書館開館日数（年間）					
					(2) 図書館入館者数（年間）					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）						
快適で利便性が高い図書館施設の維持管理を確保し、図書館利用者に対してより多くの図書資料及びサービスを提供する。				(1) 1日あたり図書館入館者数 = 図書館入館者数（年間）÷ 図書館開館日数						
				(2) 1日あたり貸出資料数 = 年間貸出資料数 ÷ 図書館開館日数						
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
				計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)	日	286.5	286.3	288.7	288.7	288.7	331.7	87.0	
	活動指標(2)	人	2,579,544	2,611,418	2,631,516	2,619,933	2,633,309	3,000,000	87.3	
	成果指標(1)	人	9,004	9,121	9,121	9,062	9,121	9,044	100.2	
	成果指標(2)	冊	14,433	13,908	13,908	14,275	14,275	15,000	95.2	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	389,604	420,449	423,465	375,739	411,729	特記事項 成果指標 年間貸出資料数の内訳 個人貸出冊数(団体貸出冊数及び視聴覚資料含む) 12年度実績4,135,093点 13年度実績3,981,907点 14年度実績4,121,090点		
	(内)委託費	千円	135,597	133,257	128,868	117,852	122,529			
	職員数(正規 非常勤)	人	149.77 32.00	147.01 32.00	142.73 36.40	145.74 37.00	144.79 36.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,360,361	1,335,292	1,296,417	1,323,756			1,315,128
		非常勤職員分	千円	93,920	93,920	106,834	108,595			105,660
	総事業費 + +	千円	1,843,885	1,849,661	1,826,716	1,808,090	1,832,517			
	単位あたりコスト ÷	円	6,435,899	6,460,569	6,327,385	6,262,868	6,347,478			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	1,843,885	1,849,661	1,826,716	1,808,090	1,832,517			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	新しい教育課程のスタートに伴い、学校週5日制が実施され「総合的な学習の時間」がカリキュラムに入り「調べ学習」などの支援が今まで以上に図書館に求められている。また、余暇の有効活用及び生涯学習の重要性が高まり、図書館の位置付けは、ますます重要視されている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	通年開館及び開館時間延長。 パソコンルームの設置。								
	今後の予測	IT(情報技術)の急速な普及により、インターネットを利用した情報発信や情報提供等、新たな図書館サービスの提供が必要とされる。 地域に開かれ、身近な図書館にしていくため、NPO・ボランティアとの協働による特色ある図書館運営の推進が求められる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	99.6	14年度予算執行率%	88.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	平成14年度10月からインターネットでの予約システムを開始したことで、予約件数が増えるとともに、貸出件数も伸びてきた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由： 地域文化の創造と生涯学習の支援を行う上で、図書館の存在意義は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由： 区内の身近な地域に図書館を設置し、サービスを提供することは、地域文化の創造と生涯学習の支援を図る上で区の責務であるが、全て職員が行う必要性はない。運営方法の見直しが必要である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由：成果を向上させるために、新たな利用者の増が求められる。インターネットによる予約サービス等を実施したことで利用者の拡大が図られた。今後もホームページの見直しや改善を図ることで新しい利用者の拡大が期待できる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由： 受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由： 対象自体は適切であり見直す余地はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由： 民間活力の活用やNPO・ボランティアとの協働による図書館運営。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 17年度開設予定の図書館でNPO等との協働等による図書館運営を目指す。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中央図書館奉仕活動、地域図書館奉仕活動				整理番号	921		枝番号							
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	924,925					
係名				管理係				上位施策名		No						
予算事業名				図書館運営管理				コード		82360		図書館サービスの充実		63		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		40		年度				根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理						(1) 地方自治法第2条第2項					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2) 図書館法第3条					
	おはなし会、映画会、講座、講演等受講希望者及び16ミリ映画機操作講習受講者。												(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則			
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				図書館資料の提供だけでなく、おはなし会、映画会、講演会、文学講座、人形劇、16ミリ映画機操作講習会などの活動実施。また、図書館見学会を受け入れたり、図書館から外へ出て「ブックトーク」等を行っている。平成15年2月から、常設展示として「阿佐ヶ谷文士村展」を行った。								活動指標名(式)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				図書館資料の提供だけでなく、おはなし会、映画会、講演会、文学講座、人形劇などの活動を通じて、資料との出会いの機会の創設や、結びつきの強化を図る。								成果指標名(式)				
												(1) 行事活動の開催回数				
												(2) 行事活動参加人数				
												(1) 行事活動1回あたり参加人数 = 行事活動参加人数 ÷ 行事活動開催回数				
												(2)				
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%							
				計画	実績		22	年度								
指標	活動指標(1)		回	1,337	1,520	1,566	1,312	1,500	1,900	69.1						
	活動指標(2)		人	22,253	21,873	23,300	16,823	20,000	25,000	67.3						
	成果指標(1)		人	17	14	15	13	13	13	100.0						
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	782	1,244	1,601	1,491	1,574	特記事項							
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0								
	職員数(正規 非常勤)		人	1.10 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,991	9,991	9,991	9,991			9,991					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0					
	総事業費 + +		千円	10,773	11,235	11,592	11,482	11,565								
	単位あたりコスト ÷		円	8,058	7,391	7,402	8,752	7,710								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0					
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0					
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0					
差引:一般財源 -		千円	10,773	11,235	11,592	11,482	11,565									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初から、おはなし会・映画会・講座・講演会等の実施に努め、現在では安定した事業実績を維持している。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		常設展示、映画会は好評である。													
	今後の予測		平成14年度から学校週休五日制がスタートし、土曜日の子どもの活動や過ごし方等、地域における受け皿の整備を進め、学校との連携を強化するとともに、児童・青少年の読書活動を推進するための読み聞かせやブックトーク等の充実に努める必要がある。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	83.8	活動指標(2)の14年度達成率%	72.2	14年度予算執行率%	93.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	職員の手作りで行っており、経費を極力抑えている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由： 図書館奉仕業務としての位置づけ及び役割が大きく、地域文化の創造と生涯学習の支援に貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由： 図書館運営全体を含めて見直す余地がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 実施主体の変更	理由：成果を向上させるために、新たな利用者の増が求められる。インターネット等を利用してPRを行う。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由： 受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(区民との役割分担、協働)	理由： 民間活力の活用やNPO・ボランティアとの協働による図書館運営。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) NPO・ボランティアとの協働による図書館運営の実現。準備が整い次第、順次実施予定。また、受益者負担については、講演会・映画会等で資料費の徴収について検討する余地がある。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館協議会運営				整理番号	922		枝番号						
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	926				
係名 管理係				上位施策名				No							
予算事業名 図書館運営管理				コード	620131		図書館サービスの充実				63				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第2項										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区教育委員会が委嘱した委員組織。				(2) 図書館法第14条										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区立図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて、中央図書館長に対して意見を述べる。				活動指標名(式)										
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 図書館サービスの展開における住民意見を反映した協議会の推進運営。				成果指標名(式)										
		区分	単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
								計画	実績			17 年度			
指標	活動指標(1)		人	40		42		40		48		40	40	120.0	
	活動指標(2)		件	11		13		10		24		10	10	240.0	
	成果指標(1)		%	80.0		87.5		100.0		88.9		100.0	100	88.9	
	成果指標(2)		件	2.2		2.6		2.0		4.0		2.0	2.0	200.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	480		504		480		576		480		特記事項 14年度…予定延べ出席者数 48人、開催数 6回 平成14年度諮問第1号「児童・生徒の学習活動を支援する図書館のあり方について」	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,635		1,635		1,635		1,907		1,907		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	2,115		2,139		2,115		2,483		2,387			
	単位あたりコスト ÷		円	52,875		50,929		52,875		51,729		59,675			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	2,115		2,139		2,115		2,483		2,387				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		発足当初、図書館のサービス等の協議が中心であったが、今日は、情報化・CS(住民満足度)等新たなニーズに対する図書館サービス展開や図書館運営等についての協議・検討が中心となってきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特に無し。												
	今後の予測		時代に対応した新たな図書館サービスの展開を図っていく上で、今後、更に活発なる協議会運営が必要とされる。また、自治基本条例施行に伴い、今後は一般公募による委員の選出が求められる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	120.0	活動指標(2)の14年度達成率%	240.0	14年度予算執行率%	120.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	14年度は、高井戸図書館移転計画があり、その為に臨時に協議会を行ったため、開催回数が6回となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	平成14年9月、任期満了に伴い、委員を10名から8名として2名の欠員で対応。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 幅広く意見等を受けることにより、区民に開かれたより良い図書館運営に反映されている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区立図書館の運営において公共図書館の責務として行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直し余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(対象の縮小)	理由: 委員数の見直し				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 委員定数の見直し					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 次回の委員委嘱にあたり、区民からの一般公募も行うため、委員構成を見直す必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	委員数を減らした分、開催回数を増とした。当初予算で見ると平成14年度が、10人×4回で、平成15年度が、8人×5回となっている。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		閲覧用図書の収集及び装備				整理番号	923		枝番号				
所属部課名		中央図書館		コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	927			
係名		管理係			上位施策名				No				
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360	図書館サービスの充実				63			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第3条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民在住・在勤・在学者の学習・文化要求に応えるため、資料を幅広く豊富に収集する。 また、この資料をわかりやすく分類して分類のシールを貼り長期保存や多数の使用に耐え得るようにビニールカバーを貼る作業(装備)を行う。				活動指標名(式) (1) 閲覧用図書の収集【購入冊数】 (2) 図書等の装備【購入本+寄贈本の装備冊数】								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 各館での分担収集の幅を広げタイトル数の増加を図る。 分類やビニールカバーを貼る作業(装備)を委託することによりコストの削減に努める。				成果指標名(式) (1) 区民1人あたり蔵書冊数 = 全蔵書冊数 ÷ 人口 (2) 蔵書増加率 = 当該年度増加冊数 ÷ 全蔵書冊数								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
					計画	実績		22年度					
指標	活動指標(1)		冊	94,564	91,470	84,919	88,661	89,914	105,316	84.2			
	活動指標(2)		冊	99,305	98,338	89,919	95,563	94,914	110,316	86.6			
	成果指標(1)		冊	3.62	3.59		3.81		5	76.2			
	成果指標(2)		%	5.06	4.90		4.26		5	85.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	211,081	201,007	195,912	195,465	198,503	特記事項				
	(内)委託費		千円	31,660	22,539	22,217	21,998	21,610					
	職員数(正規 非常勤)		人	7.40	1.00	7.40	1.00	7.00			1.00	7.00	1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	67,214	67,214	63,581	63,581			63,581		
		非常勤職員分		千円	2,935	2,935	2,935	2,935			2,935		
	総事業費 ++		千円	281,230	271,156	262,428	261,981	265,019					
	単位あたりコスト ÷		円	2,974	2,964	3,090	2,955	2,947					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	281,230	271,156	262,428	261,981	265,019						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		出版点数の大幅な伸びで資料収集の対象は増大しているが、単価アップや予算削減により、収集できるタイトル数は伸び悩んでいる。また、装備においては、自館装備を行っていたが、昭和59年の電算オンライン全面稼働に伴い、装備を民間業者に委託し、人員削減を図った。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		新刊本をもっとたくさん、購入してほしい。 リクエストの多い図書について、複本を増やしてほしい。										
	今後の予測		出版物のタイトル数は、ここ10年間の間に50%以上増加している。こうした状況の中、辞書や百科事典等、出版物の一部は、デジタル化している。こういった、本のデジタル化は、増加傾向にある。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

		活動指標(1)の14年度達成率%	104.4	活動指標(2)の14年度達成率%	106.3	14年度予算執行率%	99.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		収集及び装備においては、いずれも目標を達成している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)		資料購入と装備の作業手順等についての見直しを継続して行っている。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：館自体の選書は勿論のこと、リクエスト対応にも力をいれている。また、装備をすることによって、長期保存や区民等の多数の使用に耐える資料となっている。					
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：資料収集は、区の責務であると考え。ただし、装備は民間に委託して、実施している。					
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：					
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。					
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：資料の分担収集や複本調整を行う。					
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	理由：図書購入と装備方法の抜本的見直し。ただし見直しは、電算システムの大規模な改正を伴うので、電算システムの次期入替に合わせて行う。					
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 資料購入方法や作業手順の見直しを継続して行い、平成17年度の図書館システム検討(電算システムの次期入替)に伴って、図書購入と装備のあり方を抜本的に見直すことにより、事務の効率化を図りたい。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	収集資料の対象が激増しているため年間出版点数の40%程度の収集しか出来ていない状態であり、図書資料の収集・保存の役割が充分果たされていない。また、図書のタイトル数を増やすに伴い装備費用も確実に増加する。このため電算システムの入替に伴い図書購入と装備のあり方を抜本的に見直すまでは、現在の予算を維持する必要がある。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		視聴覚資料の収集及び装備						整理番号		924		枝番号					
所属部課名		中央図書館		コード		620131		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号		928			
係名				管理係				上位施策名				No					
予算事業名				図書館運営管理				コード				82360					
								図書館サービスの充実				63					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項				(2) 図書館法第3条						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則				C D・カセットテープ・16ミリフィルム・ビデオテープ						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				区内在住・在勤・在学者の持つ趣味・娯楽等の要求に応えるために、視聴覚資料の貸出し。またこれらの資料の管理を行う。ただし平成14年度より視聴覚資料購入は中止している。				活動指標名(式)				(1) 視聴覚資料の収集【視聴覚資料の購入数】				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				現在収集している視聴覚資料のあり方を全面的にみなおし、今後の視聴覚資料の収集方法の再構築を図る。				成果指標名(式)				(1) 利用率 = 利用数 ÷ 保有数				
								(2) 増加率 = 年間受入数 ÷ 保有数									
区分		単位		12年度実績		13年度実績		14年度				15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
								計画		実績				22 年度			
指標	活動指標(1)		点		1,113		1,138		0		0		0				
	活動指標(2)		点		1,113		1,117		0		0		0				
	成果指標(1)		回		6.78		5.70				7.49				0		
	成果指標(2)		%		2.74		2.32				0				0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		2,692		5,562		160		141		100		特記事項 14年度資料購入費0円 汚損書換分 100千円		
	(内)委託費		千円														
	職員数(正規 非常勤)		人		0.20 0.00		0.20 0.00		0.05 0.00		0.05 0.00		0.05 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円		1,817		1,817		454		454		454			
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円		4,509		7,379		614		595		554				
	単位あたりコスト ÷		円		4,051		6,484										
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
		特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円		4,509		7,379		614		595		554					
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		C Dは、現在11館中の6館で取り扱っている。広範なジャンルから収集していたが、タイトル数としては、十分な収集ができていない。														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		C Dの種類、数を増やしてほしい。 C Dの貸出点数を増やしてほしい。 C Dのリクエストが行えるようにしてほしい。(C Dを置いていない館でのC Dの受け取り。 未所蔵のC Dの希望。)														
	今後の予測		インターネットによる音楽・映像配信サービスの開始による視聴覚媒体の変化。また、大規模ビデオレンタル店には、C Dコーナーもあり、品揃いも豊富で、安価で借りることができる。図書館での全事業のバランスを考えて、C D貸出やビデオテープの館内視聴は、徐々に縮小、廃止していく。														

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	88.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	資料購入費なし			
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	視聴覚資料のあり方について引き続き検討中。			
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 小(理由 改革案の概要へ)	理由:		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:		
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:		
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(対象の縮小)	理由:		
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 個人貸出用のCD・カセットテープ及び館内視聴用のビデオテープについては、事業の段階的に縮小している。廃止の時期、方法については、現在、検討中である。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 CDの貸出については、住民要望が大変強い。また、貸出し事業を廃止した場合現在保有している資料の活用方法等を検討する必要がある。今後のあり方について図書館協議会へ諮問し、住民への周知を行い理解を得る。			
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	今年度汚損書換分として計上されている事業費を館全体の修繕費に含め視聴覚資料についての予算を廃止していく。		

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者・高齢者に対する図書館サービスの提供				整理番号	925		枝番号							
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	929					
係名				サービス係				上位施策名			No					
予算事業名				図書館維持運営				コード			82360					
								図書館サービスの充実			63					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区立図書館条例、同運営規則 (2) 杉並区立中央図書館点字資料・録音資料貸出実施要領 (3) 杉並区立図書館対面朗読実施要領									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				視覚障害者に対し対面朗読を実施している。また、録音図書・雑誌を製作し郵送により貸出しを行っている。								活動指標名(式)		(1) 対面朗読利用者数及び録音図書・雑誌利用者数 (2) 録音図書(原版)作成数	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				図書館、図書資料の利用が困難な障害者等が、健常者と同じように図書資料を利用することができる。								成果指標名(式)		(1) 視覚障害での利用登録者数 ÷ 視覚障害者数 (2) 録音図書(複製版)作成数	
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%						
					計画	実績	計画		17年度							
指標	活動指標(1)		人	4,042	3,586	3,800	3,592	3,900		4,200	85.5					
	活動指標(2)		巻	160	179	175	225	225		180	125.0					
	成果指標(1)		%	24	25	26	26	26		28	92.9					
	成果指標(2)		巻	14,093	13,779	12,000	12,047	13,000		14,000	86.1					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,661	5,185	2,990	2,446	2,991		特記事項						
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0								
	職員数(正規 非常勤)		人	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	3.00 0.00								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	25,432	25,432	25,432	25,432	27,249							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	28,093	30,617	28,422	27,878	30,240								
	単位あたりコスト ÷		円	6,950	8,538	7,479	7,761	7,754								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0							
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	28,093	30,617	28,422	27,878	30,240									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化の進行や視覚障害者の増加により、利用者の増加がみられる。また情報化社会の進展により、情報収集に対する欲求の高まりがみられる。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		自宅への対面朗読の希望や回数増加の要望がある。また、さまざまな媒体の希望が増えつつある。													
	今後の予測		社会の高齢化等により、直接図書館を利用することが困難な方への新たなサービスの増加が見込まれる。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	94.5	活動指標(2)の14年度達成率%	128.6	14年度予算執行率%	81.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	高齢者等の利用のため予定が変更になることもあるが、対面朗読、録音図書・雑誌の貸出しとも概ね計画を達成している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	対面朗読の朗読者の質を高めるために、朗読ボランティアへの指導、助言を随時指導している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 大(理由)	理由: 図書館及び図書館資料の利用が困難な人に対する、読書の機会を確保することに寄与している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 図書館の資料を利用する基本的図書館サービスの一環である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由: NPO、ボランティアとの協働により対面朗読を実施することにより、きめ細かい対応が可能になる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 図書館の資料を利用することについては、図書館法第17条により無料が原則である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 図書館の利用が困難な人に対するサービスであり、対象は限定されている。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(区民との役割分担、協働)	理由: 対面朗読の予約受付など庶務的な事務を、ボランティアと協働する。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 朗読ボランティアを十分確保するため育成に努め、事業の拡充をはかる。また、録音図書、雑誌のテープ作成についてもボランティアとの協働による事業を検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対面朗読は図書の音訳であり、専門的技能の必要な対面朗読ボランティアを確保する必要があるが、現在では十分確保できていない。ボランティアの育成とレベルアップのためには、養成講座等を開催し、朗読ボランティアの質の向上、人数の確保に努めなければならない。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 朗読ボランティアの質の向上は経験によるところが大きく、短期間で向上を図ることは困難である。当面、現在行っている育成事業の継続し					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域・家庭文庫の育成				整理番号	926		枝番号						
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	930				
係名				サービス係				上位施策名		No					
予算事業名				図書館運営管理				コード		82360		図書館サービスの充実	63		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区立図書館条例・同運営規則 (2) 杉並区地域家庭文庫育成要綱・同審査会設置要領 (3)								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	区内で活動している地域文庫及び家庭文庫														
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				地域・家庭文庫の貸出用図書を充実するため、区から図書を貸与している。				活動指標名(式)				(1) 助成対象文庫(団体)数			
												(2) 文庫への貸与図書数			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				地域・家庭文庫と連携をとりながら、幼児、児童が身近に本と接する機会を増やす。				成果指標名(式)				(1) 文庫利用者数			
												(2) 文庫図書利用数			
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		計画		17年度				
指標	活動指標(1)		団体	8		8		9		9		9		100.0	
	活動指標(2)		冊	811		826		840		675		840		80.4	
	成果指標(1)		人	3,898		4,031		4,100		4,767		4,800		95.3	
	成果指標(2)		冊	6,129		5,816		6,000		6,844		6,700		102.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	960		957		840		840		840		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	908		908		908		908		908		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	1,868		1,865		1,748		1,748		1,748			
	単位あたりコスト ÷		円	233,500		233,125		194,222		194,211		194,222			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	1,868		1,865		1,748		1,748		1,748				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始当初から比べ、地域図書館の整備(5館 11館)が進み、図書館を利用する機会が増えている。保健センター、保育園、小学校、児童館への団体貸出が充実してきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		各文庫からは、事業継続などの要望がある。												
	今後の予測		東京都の子ども読書推進計画のなかで、地域に密着した読書活動としてあげられており、より一層の効率的運営が求められてくる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	80.4	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	予算どおり執行					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	文庫専用図書を供与から貸与へと移行した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 小(理由 改革案の概要へ)					
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)					
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 個別の事業で活動するのではなく、図書館事業との協働を検討していきたい。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 図書館サービスは無料が原則のため				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 各文庫の主体性を尊重する必要があるため				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由: 図書館事業との協働の検討を進めていくことが可能であればコストを下げる余地はある。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 地域図書館が整備され、図書館が利用しやすくなってきている。よって、 個別の事業活動ではなく、図書館事業との協働を検討していきたい。 地域家庭文庫のあり方が変化しつつある。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各文庫と図書館側の図書に関する考え方などについて、互いに理解を深め、各文庫の協力を得ていきたい。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	団体貸出でより多くの図書を各文庫に利用していただく方法も一例としてあるが、各文庫の特色も大切にしなければならない。よって、短期的な予算減額はむずかしい。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営の調査研究・司書養成				整理番号	927		枝番号								
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	931						
係名				管理係				上位施策名		No							
予算事業名				図書館運営管理				コード		82360		図書館サービスの充実		63			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		25年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項				(2) 図書館法第4条、第5条、第6条						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則										
	司書資格取得を要する職員																
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				司書・司書補養成のため、養成機関への職員派遣。関係機関への情報提供並びに情報収集。				活動指標名(式)				(1) 司書・司書補養成人数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				図書館機能の充実。特に、レファレンス機能の向上。				成果指標名(式)				(1) 延べ司書(補)資格保有者数					
												(2) 司書率(司書・司書補人数÷職員数)					
区分	単位	12年度実績		13年度実績		14年度計画		14年度実績		15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度							
指標	活動指標(1)		人		4		5		3		4		3		133.3		
	活動指標(2)		団体		2		2		1		1		1		100.0		
	成果指標(1)		人		65		68		70		71		72		88.8		
	成果指標(2)		%		34.0		35.2		35.2		36.0		36.5		40.6		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		684		742		934		558		593		特記事項		
	(内)委託費		千円		0		0		0		0		0				
	職員数(正規 非常勤)		人		1.00		0.00		1.25		0.00		0.75		0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円		9,083		11,354		6,812		9,083		6,812		平成14年度から、児童図書館研究会から脱会。 成果指標(2)の算出の為の職員数は、平成14年度計画時199人、実績時197人で計算。平成15年度は197人で計算。 成果指標(1)の目標値は嘱託員を除いた職員数160名の50%で80名。	
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円		9,767		12,096		7,746		9,641		7,405				
	単位あたりコスト ÷		円		2,441,750		2,419,200		2,582,000		2,410,250		2,468,333				
	財源	受益者負担分		千円		0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円		0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円		9,767		12,096		7,746		9,641		7,405					
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		司書・司書補の養成を行ってきたため、若干ではあるが、司書率は高まっている。23区平均は、平成14年4月現在23%(非常勤職員除く)である。														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		レファレンスサービスの充実は、図書館サービスの大きな柱と位置付けており、区民からも、レファレンスサービスの充実を求める要望が多い。平成15年度からは組織改正を行い、調査相談係を新たに設けた。														
	今後の予測		当面、職員(嘱託員含む)の司書率は、人事異動で若干減少する分、司書(補)養成で35%前後は維持していけると思われる。														

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	133.3	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	59.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	司書3名の計画で予算を組んでいたが、司書2名、司書補2名の計4名で受講したので、計画よりも1名多く参加できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 司書資格の専門的職員の配置により、図書館利用者に対するレファレンス機能の充実が図られている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由: 司書資格者数を維持・向上する為には、受講対象者を増やすことが考えられる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 職員の人事異動に伴う司書率の低下は避けられず、成果を維持することは困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 既に見直しを図った(平成11年度に司書(補)養成人数の削減及び、対替アルバイト賃金の全面廃止等)ので、コストダウンの余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) NPO・ボランティアとの協働を行うことにより、専門的知識(例えば司書資格者も含む)の人材確保が可能となる。計画では、平成17年度の方南和泉地域の図書館建設に併せて、一部協働を実施する予定。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 職員との役割や責任分担をどうするか検討をする必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現状で、司書率を維持する為。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ブックスタートの実施				整理番号	928		枝番号		
所属部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715			
係名		サービス係		上位施策名				No			
予算事業名		図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 4ヶ月児健診受診者(保護者)				(2) (仮称)杉並区子ども読書活動推進計画						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内5保健センターで行われる4ヶ月児健診会場で4ヶ月児保護者にブックスタートパックを個別に手渡ししながらブックスタートのメッセージを伝える。				活動指標名(式) (1) ブックスタートパック配付数 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 赤ちゃんと保護者(赤ちゃんの周りにいる人たち)が、肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通い合わせかけがえのない貴重なひと時を「絵本」を通して、日常の中に、たくさん作れる「きっかけ作り」をしたい。				成果指標名(式) (1) ブックスタートパック配付率 (2)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		セット			3,920	3,481	3,920	3,920	88.8	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%			100.0	99.4	100.0	100.0	99.4	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			7,114	6,146	7,660	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	27,249	27,249	27,249			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	34,363	33,395	34,909			
	単位あたりコスト ÷		円			8,766	9,594	8,905			
	財源	受益者負担分		千円			0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円			0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	34,363	33,395	34,909				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		配付したブックを持った方や赤ちゃん連れの来館者が目につくようになった。 乳幼児のお話会参加者が増えた。 乳幼児の本に関する問い合わせがくるようになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		苦情はとくに無い。								
	今後の予測		本への意識が高まり、多くの本を親子で楽しめるようになる。楽しい本の時間を持つことを習慣にすることにより、その子の思考能力や心の成長に影響を与えることができるようになる。ブックスタートパック配付の際に子育てに関する情報や区の施設案内も一緒に渡すことにより、保護者が地域の中で楽しく子育てができる一助になる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	88.8	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	86.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	実績による残					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	14年度からの新規事業である。ボランティア謝礼を予算計上し、ブックスタートパックの配付をボランティアと協働で行っている。今後徐々に増やしていく予定である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 中(理由)	理由: 子どもの心の成長に関与する事業である。読書の啓発事業である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:平成13年12月「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、(仮称)杉並区子ども読書活動推進計画を策定中である。平成14年度より開始した事業のあり方が、ある程度定着するまでは、区が主体となるべきと考えるが地域に根付いた運動にするためには、地域との連携が必要となる。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:今のところ受益者負担を求める事業ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:ブックスタート事業は、出生した子ども全員にパックを手渡すことを目的としている。そのため、受診率が100%に最も近い4ヶ月児健診受診者を対象にしている。よって、縮小、拡大はできない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	今後、パックに入れる絵本の冊数などについて、検討を重ねていきたい。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 子育てに係る関係各課等と連携し、地域のボランティア団体などにも協力していただきながら、ブックスタートの周知を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区独自のアンケート調査等を行い事業の成果、地域の定着状況等の検証を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 4ヶ月児健診は、例年一定の数値で推移するため、予算の増減はあまり考えられない。					